

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)		説文解字 篆文	隸書 (秦・前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
噏	ユ ざとす たとえる 新②									聖武天皇雜集
諭	ユ ざとす たとえる 常①									聖武天皇雜集
										九経<經典>
嘩	カ かまびすし い 人①									
嗣	シ つぐ 常①									王勃詩序
										周玉集
										
嘆	タン なげかわし い なげく 常①									法華義疏
嘆	タン なげかわし い なげく 人③									聖武天皇雜集
歎	タン なげく 人①									聖武天皇雜集
嗅	キュウ かぐ 新②									五経<説文>
𪔐										五経<經典>
嘉	カ よい よみする 人①									王勃詩序
										聖武天皇雜集

【論】干禄字書によれば「論」の通字体で異体字の関係。九經字樣では「論」を説文解字の字体、「噏」を經典の字体としている。説文には「論」しか載っていない。前漢以前には「論」しか見えないが、南北朝には「噏」しか見えない。なお干禄字書の「論」の旁の「月」は「ふ」なづき。	【嘆】干禄字書では「嘆」を〈俗〉、「歎」を〈正〉とする。九經字樣では「嘆」も載っている。陸軍幼年学校用字便覧では「歎」を正字、「嘆」を通用字としている。現代中国では「嘆・嘖」と「歎・歎」は1つに統合されている。 【嘆】五經文字では「嘖」の異体字の扱いになっていて、「歎」
--	---

【嘆】干祿字書では「嘆」を〈俗〉、「歎」を〈正〉とする。九經字樣では「嘆」も載っている。陸軍幼年学校用字便覧では「歎」を正字、「嘆」を通用字としている。現代中国では「嘆・嘆」と「歎・歎」は1つに統合されている。

【嗅】五経文字では「𪔐」の異体字の扱いになっていて、「𪔐」

平安中期 から 室町	江戸版本 1716年 部首・画数	康熙字典 弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
喻 元暦萬葉⑤	喙 節用	喙 口9	諭 明治の漢字			諭	諭		諭×		諭 干祿〈通〉	諭 現代中国
諭 和漢体十種	喙 五常俗談集	諭 言9	諭								諭 魏・受禪表	諭 現代中国
	喙 国恩											
		嘩 口12	嘩			嘩		嘩				嘩 現代中国
嗣 元暦萬葉①	嗣 節用	嗣 口10				嗣	嗣		嗣			嗣 現代中国
嗣 元暦萬葉①		台 古文										
副 元暦萬葉⑥		厚 古文										
嘆 節用	嘆 口11	嘆		嘆 陸軍〈通〉		嘆	嘆	嘆	嘆×		嘆 江戸干祿(密)	嘆 現代中国
嘆 節用	歎 欠11	歎		歎 陸軍〈正〉		歎						
歎 元暦萬葉①	歎 北窓瑣談											
		嗅 口10	嗅			嗅		嗅				嗅 現代中国
		𦏧 鼻10	𦏧					𦏧				
嘉 粘葉本朗詠	嘉 書札重宝記	嘉 口11	嘉			嘉					嘉 鏡季子白盤	嘉 現代中国
	嘉 続消息往来										嘉 右走馬嘉壺	嘉 庭訓往来

を説文、「嗅」を経典の字体としている。漱石は点あり、なし
両方の字体を書いている。

【嘉】漢の隸書の時代にはまだどこを伸ばすか一定していない。唐代には横線を伸ばすことに決まったようだ。江戸版本では「土または土+加」の使用例が最も多い。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)			説文解字 篆文	隷書 (秦・前漢・後漢)		草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期		
噲	ソン うわさ 人①										信行禪師碑		豊脊指歸	
噲														
噲	ゴウ かみ ①													
噲	ゴウ かみ かむ ③													
噲	キウ うつわ 教4常①													珣玉集
噲	キウ うつわ ②													豊脊指歸
噲	キウ うつわ 人③													勢無刻間啓
噲	ショク 常①													請来目錄
噲	ショク ②													豊脊指歸
噲	フン ふく はく 常①													伝空海 新撰類林抄
噲														
噲	ホ しく みせ 常①													聖武天皇集
噲	ホ しく みせ ①													請来目錄
噲	ホ しく みせ ②													與本國使啓

【噲】JIS2004で「噲」から「噲」に例示字体が変更された。
また2004年に人名用漢字に追加された。
【噲】大きく分けて中央が「犬」「大」「土」「工」「ユ」と5つの字体がある。「大」では意味が通じないという意見もあるが、犬の象形が「大」となることもある。「大」が水平に開脚すれば「土」になり、「土」の縦線が上に出なければ「工」になり、「工」を早書きすれば「ユ」になる。「土」「工」は漢代にはすでに使われている。もしかしたら生け贄の「犬」の代わりに、呪具の「工」を使う字体があったのかもしれない。
【噲】康熙字典に「噲」と「噲」が別々に載っている。漢字要

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
													
	消息往来	口12											噲
	書札重宝記												
													
	墨流本朗詠	畢翁寒略被甲碑	口15										噲
	三寶絵詞	節用											
													
	伊部内親王願文	再板農業全書	口13		陸軍					×		干祿字書(通)	噲
	藤原行成	礼容筆粹	口12		陸軍								
													
	和歌体十種												
													
	元暦萬葉集	口21											噲
													
													
	節用	口13											噲
													
	開化往来												
													
	屏風土台	節用	金7										噲
													
	粘葉本朗詠	貴家訓室記訓讀				陸軍							

覧に「噲」の別体として「噲」が載っているが、実際に使われていたのだろうか。
【噲】説文篆文では偏が「金」なので、「噲」が正字らしい。康熙字典にも「噲」しか載っていない。現代中国では偏を「金」の草書体になっている。江戸期以前には「噲」は見えない。
※当用漢字字体表の下の○×は、複数の字体がある字種のうち昭和24年当時、岩田母型製造所での母型の有無を示す。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文 (殷・西周・春秋・戦国)			説文解字 篆文	隸書 (秦・前漢・後漢)		草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期	
嘲	チョウ トウ あざける からかう 新②				𠂔 説文新附					嘲 寇憲墓誌			
噸	トン												
噤	はなし ①												
四	シ よ つ よ つ よん 教1常①	𠂔 甲骨	𠂔 金文	𠂔 包山楚簡	𠂔 説文篆文	𠂔 馬王堆	𠂔 祀三公山碑	𠂔 大観帖	𠂔 集字聖教序	𠂔 鄭義下碑	𠂔 孔子廟堂碑	𠂔 干祿字書	𠂔 多胡碑
		𠂔 金文	𠂔 金文	𠂔 信陽楚墓	𠂔 説文古文	𠂔 居延漢簡	𠂔 石門頌			𠂔 論經書詩	𠂔 九成宮		𠂔 王勃詩序
		𠂔 金文	𠂔 包山楚簡	𠂔 楚帛書	𠂔 説文籀文	𠂔 居延漢簡	𠂔 乙瑛碑				𠂔 雁塔聖教序		
		𠂔 大孟鼎	𠂔 包山楚簡	𠂔 睡虎地秦簡									
囚	シュウ とらえる 常①	𠂔 甲骨		𠂔 睡虎地秦簡	𠂔 説文篆文	𠂔 銀雀山竹簡	𠂔 張遷碑			𠂔 敬史君碑	𠂔 晉蔡世家殘卷		𠂔 瑠玉集
				𠂔 睡虎地秦簡		𠂔 居延漢簡							
因	イン よる ちなむ 教5常①	𠂔 甲骨	𠂔 金文	𠂔 郭店楚簡	𠂔 泰山刻石	𠂔 居延漢簡	𠂔 西狹頌	𠂔 漢時帖	𠂔 姚母帖	𠂔 牛軋造像記	𠂔 伊闕仏龕碑	𠂔 干祿字書	𠂔 王勃詩序
囧		𠂔 甲骨	𠂔 金文	𠂔 郭店楚簡	𠂔 説文篆文		𠂔 史晨後碑	𠂔 淳化閣帖	𠂔 蘭亭叙	𠂔 元頊墓誌	𠂔 雁塔聖教序	𠂔 五經文字	𠂔 王勃詩序
		𠂔 甲骨		𠂔 郭店楚簡						𠂔 元詳造像記	𠂔 隋・龍華寺碑		𠂔 風信帖
		𠂔 甲骨		𠂔 信陽楚墓						𠂔 賈思伯碑	𠂔 等慈寺碑		
				𠂔 睡虎地秦簡						𠂔 敬史君碑			

【因】「𠂔」の中の「大」は開脚すれば「土」になり、頭を省けば「𠂔」になり、早書きすれば「ユ」になり、さらに「コ」に変化する。日本に伝わった字体は「因」と「囧」。干祿字書では「因」を〈正〉、「囧」を〈俗〉とする。干祿字書では「大」の右払いを止めているが、五經文字では払っている。狭

い四角の中で払うというのは不自然。教育漢字も払っているが、手書きの字体を教えるのなら再考した方がよい。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん 明治39年	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考	
嘲	嘲	嘲	嘲				嘲		嘲			嘲	嘲
屏風土台	女今川宝島台	口12										JIS2004以前	現代中国
			𠂔				𠂔						吨
													現代中国
	𠂔 絵本藏書筆談		𠂔	𠂔			𠂔	𠂔					国字
嵯峨天皇	告志篇	口2	𠂔	𠂔			𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
	𠂔 節用	𠂔 古文											
囚	囚	囚	囚				囚	囚		囚		囚	囚
色紙法華経⑧	百官名尽	口2											現代中国
因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因	因
粘葉本朗詠	節用	口3			明治の漢字							干祿字書〈俗〉	現代中国
因		因			因								
粘葉本朗詠		俗											
		𠂔											
		𠂔 古字											

【回】江戸版本では「回」が多く使われている。康熙字典は「回」を本字としている。明治の漢字も「回」を本字としている。陸軍幼年学校用字便覧では「回」を正字、「回」を古字としている。

【囧】口の中に「專」が正字体、「專」が通字体、「寸」は略字体。正字体も楷書と明朝体では字体が異なる。

【囧】正字体「囧」の構成要素「章」について。単体の漢字としては10画だが、部首では「囧」のようによ、下部を3画とし、9画の画数に分類される。ところが常用漢字の構成要素になる場合は、「倅」のように下部を4画とし、画数は10画

として数える。これが我が国の施策である。康熙字典では一貫して9画に数える。

【困】「くになまえ」という囲まれた空間の中で「木」に右払いがあるのはおかしい。